

スペイン病院のエボラに対する怠慢は資金不足のため？

RT (Russia Today)

October 09, 2014



2014年10月7日、エボラに感染した看護婦が治療を受けている、マドリードのカルロス3世病院の外を歩いている医師。

スペインの看護婦 **Teresa Ramos** が、マドリードの病院でエボラ・ウィルスの検査を受けていたとき、他の患者からカーテンだけで仕切られていたと言われる。この国の資金不足(?)の医療サービスが「不適切」だという反応を呼び、激しい非難が起こっている。

<http://rt.com/news/193900-ebola-spread-inevitable-wto/>

参考資料「エボラは広範囲に広がるのでヨーロッパでの蔓延は“不可避”——WHO」

後にエボラ検査で陽性と判明したラモス看護婦(44)は、この恐ろしいウィルスに罹った可能性を報告するために、エボラ患者がかつて治療を受けていた「カルロス3世中央病院」を訪れたが、直ちに受け入れてもらえず、結局、地方の医療施設 **Alcoron** 病院に送られることになった——と **Diario Enfermero** (看護師ジャーナル) は報告している。

病院スタッフの話によれば、ここで彼女は、自分のエボラ検査の結果を待つ間、他の患者たちとカーテンだけで仕切られた状態で、“4時間”も待たされていた。看護婦たちは防護服を着用することなく彼女を見たと言われる。

この報告は、国家の厚生官僚たちが、エボラ・ウィルスに対処する「不適切」なやり方について、医療者組合から次第に激しい非難を浴びるようになった矢先に、発表された。

感染した宣教師たちを、アフリカからスペインへ連れてくるということは、「完全に不用意な病院のキャンペーン」だと、独立従業員組合のスポークスウーマン Elena Moral は報告した。



医療従事者たちが La Paz Hospital の外で、2014年10月7日、マドリードでスペインの看護婦がエボラに感染した後、厚生大臣 Ana Mato の辞任を呼びかける抗議集会を行っている。

「私たちは、この強烈なウィルスに対処するためのインフラストラクチャーを持たなかったのです」と彼女は言った。

医療活動家たちは、マドリード市当局は、エボラ患者がそこへ移送される数か月前に、カルロス 3 世病院の伝染病センターから、「防護設備を撤去する (dismantle)」決定をしたのだと報告している。

この「防護設備撤去」は、エボラ熱が「適切な安全保障条件を満たさない場所で治療される」という事態をもたらした、と厚生事業弁護団のスポークスマン Marciano Sanchez Bayle は話した。

「伝染病のために作られた部門全体が閉鎖されたのです」と、彼は Euronews とのインタビューで説明した。「そこで働いていた専門家たちは他の部署へ移されました。研究施設は閉鎖され、集中治療ユニットもなくなりました。要するに、あの手この手で、このような性格の病気に対処する病院の能力が、著しく低下させられたということです。」

職員組合は、病院管理から厚生大臣 Ana Maco に至る、あらゆるレベルの役人たちの辞職を求めた。またマドリード共同体議長 Ignacio Gonzalez に対しても、カルロス 3 世病院の伝染病部門の「防護設備撤去」を決定したことで、辞職するように求めた。

<http://rt.com/news/193332-ebola-virus-interactive-map/>

ラモス看護婦は、シエラ・レオネとリベリアからスペインへ移送されたエボラに感染した 2 人の宣教師を治療し、結局は病院で死亡した。

火曜日には、更に 4 人の人々がこの病気に罹った可能性があるという疑いで、スペインで入院させられた。そのうち 2 人は検査の結果、エボラについては陰性と判明した。

組合は、適切な指導がないことと、エボラ患者を看護する前に医療スタッフが受け取る不適切な防護服について、不満を訴えている。



Mariano Rajoy スペイン首相が、2014 年 10 月 8 日の国会質問で困った表情を見せている。

感染した患者たちの部屋から出る廃棄物が、すべての職員の使う同じエレベーターで運ばれていたという報告もある。

スペイン首相 **Mariano Rajoy** は、水曜日の国会で、政府はエボラ・ウィルスがこの国でちゃんと管理されていると保証できるのかと、厳しく詰問された。

「我々はこの懸念の問題に取り組んでおり、それは当然のことだ」というラホイ首相の言葉が **El Mundo** 紙に引用されている。彼は加えて、「監視委員会が設けられ、何が起こったのかを調査し、国民にすべてを説明するはずだ」と答えた。

国家がウィルスに対する準備をしていなかったという報告に続いて、首相はスペイン国民に対し、エボラ・ウィルスに関しては「用心すると同時に冷静な態度を保つ」ことを要請した。

熱帯医学ロンドン・スクール教授で、エボラの発見者の一人である **Peter Piot** は、このウィルスに感染した人々の治療には極めて厳しい規律が必要だと警告した。

「これに対しては、過敏すぎるとか、防備し過ぎということはないことを、あらゆる人が知っていなければならない」と彼は、**WHO** 科学者グループ遠隔会議で話したと、ロイターは伝えている。